フリーペーパー　ご自由にお持ちください！『幕末暗殺！』好評発売中！

出版社：中央公論新社
価　格：1600 円＋税
単行本：312P
1/19　発売

操觚の会
初のアンソロジー

操觚の会精鋭７名が
幕末の暗殺を紡ぎます！

操觚（そうこ）の会とは？

歴史小説界に風穴をあけんとする作家集団です。
新しい歴史小説を模索、構築しようと活動しています。
会員は 16 名。各種イベントや講演会を定期的に行い、
SNS などで情報発信をしています。
操觚とは、古代中国で文字を書くのに用いられた「觚」
という木札を「操」る、すなわち文筆業の意で、
その語感が会にふさわしいと命名しました。

操觚の会　公式 SNS　ハッシュタグは「#そうこの会」で！

Twitter　https://twitter.com/rekishi_jidai
Facebook　https://www.facebook.com/rekishi.jidainovel/
随時更新、情報発信しています。お気軽にフォローしてください。

2018/1/10

神家正成　「明治の石」

幕末最大の謎である孝明天皇の暗殺事件。すべてが闇に包まれようとしていた明治の世、若き陸軍将校がその命を懸けて謎に挑む。
果たして真相は病死なのか毒殺なのか、そしてその動機は？

誉田龍一　「天が遣わせし男」

「龍馬暗殺」
その言葉は、歴史ファンのみならず人々の心を今も捉えて離さない。そんな日本史上最も有名で、最大のミステリである
この暗殺事件を実行者側から描く異色作。ご期待下さい。

新美健　「欺きの士道」

文久三年四月……天誅の嵐が吹く京都から江戸へ戻ったばかりの幕臣・佐々木只三郎は、会津藩の重臣にして実兄・手代木直右衛門から密命を受ける。将軍警護の浪士組を献策しておきながら、京で幕府を裏切った清河八郎を暗殺しろというのだ。出羽の郷士であり、市井の儒学者にすぎなかった清河八郎は、なぜ尊攘活動に奔ったのか？　主君を持たない郷士に士道はあるのか？　そして、清河暗殺を引き受けた佐々木只三郎の士道とは？

谷津矢車　「竹とんぼの群青」

水戸藩士・黒澤忠三郎は友人の菅原彦右衛門と共に、“西洋式のリボルバー銃の買い付け”という藩命のために奔走する。その後、忠三郎は順調に出世し、彦右衛門はリボルバー銃複製の責任者につくのだが、時は折しも幕末、風雲急を告げる時代のうねりが、二人にもひたひたと迫りくるのだった……。二つの青き志はどこに流れゆくのか。
幕末 × 青春物語、ご期待ください。

安政7年・万延元年（3月18日〜）1860年			
3月3日	井伊直弼	大老　桜田門外の変	水戸浪士黒澤忠三郎ら
12月4日	ヘンリー・ヒュースケン	通訳	薩摩藩士
万延2年・文久元年（2月19日〜）1861年			
5月28日	第一次東禅寺事件		
文久2年　1862年			
1月15日	坂下門外の変		
4月8日	吉田東洋	土佐藩参政	那須信吾ら
4月23日	寺田屋事件		島津久光
5月29日	第二次東禅寺事件		
7月20日	島田左近	九条家家士	田中新兵衛
8月2日	井上佐一郎	土佐藩下横目	岡田以蔵ら
閏8月20日	本間精一郎	越後浪士	田中新兵衛　岡田以蔵？
12月21日	塙忠宝	加藤甲次郎　和学者	伊藤俊輔ら
文久3年　1863年			
4月8日	殿内義雄	壬生浪士組	近藤勇　沖田総司ら
2月23日	足利三代木像梟首事件		
4月8日	姉小路公知	公家	田中新兵衛？
4月13日	清河八郎	出羽庄内郷士	佐々木只三郎　速見又四郎ら
7月20日	佐伯又三郎	新選組隊士	芹沢鴨一派
8月2日	天誅組の変		
8月18日	八月十八日の政変		
12月21日	芹沢鴨　平山五郎	新選組局長　隊士	近藤勇　土方歳三ら
文久4年・元治元年（2月20日〜）1864年			
3月27日	天狗党の乱		
5月20日	内山彦次郎	大阪町奉行与力	新選組？
6月5日	池田屋事件		
6月16日	平岡円四郎	一橋家家老	江幡広光　林忠五郎ら
7月11日	佐久間象山	松代藩藩士	河上彦斎　来島三治郎　前田伊右衛門　松浦虎太郎
7月19日	禁門の変		
8月13日	第一次長州征討		
12月8日	中山忠光	尊攘派公家	長州藩俗論党
元治2年・慶応元年（4月7日〜）1865年			
1月8日	大利鼎吉	土佐藩脱藩浪士	新選組
慶応2年　1866年			
1月21日	薩長同盟		
4月1日	谷三十郎	新選組七番隊長	斎藤一？
6月7日	第二次長州征討		
7月20日	十四代将軍徳川家茂死去		
12月25日	孝明天皇		岩倉具視らによる毒殺説
慶応3年　1867年			
6月22日	武田観柳斎	新選組五番隊長	斎藤一　篠原泰之進ら？
8月14日	原市之進	水戸藩士一橋家家臣	幕府御家人
9月3日	赤松小三郎	上田藩士軍学者	中村半次郎ら
10月14日	大政奉還		
11月15日	坂本龍馬　中岡慎太郎	土佐藩士	京都見廻組？
11月18日	藤堂平助　毛内有之助　服部武雄　伊東甲子太郎	元新選組で御陵衛士	斎藤一　大石鍬次郎ら
12月9日	王政復古の大号令		
慶応4年・明治元年（9月8日改元）1868年			
1月3日	鳥羽・伏見の戦い		
4月11日	江戸城無血開城		
明治2年　1869年			
1月5日	横井小楠	参与	十津川郷士ら
5月18日	箱館戦争終結		
9月4日	大村益次郎	兵部大輔	団伸二郎　神代直人ら
明治11年　1878年			
5月14日	大久保利通	内務卿	島田一郎ら不平士族ら
明治42年　1909年			
10月26日	伊藤博文	貴族院議員	安重根

秋山香乃　「裏切り者」

国の岐路に立った男たちの史上もっともタブーなプロジェクトが始動する。実行者は二重、三重に間者をつとめる男。新選組でも一、二の剣の腕を誇る斎藤一。こころ凍える生活の中、それでも友と呼べる男がいた。裏切ったのは、俺か、あいつか。死闘の末に斎藤が辿り着いた場所とは――。『裏切者』から 18 年。今、再び同じタイトルで臨む『裏切り者』をお楽しみください。

鈴木英治　「血腥き風」

兄と慕っていた宮部鼎蔵が、京の池田屋で新選組に討たれたとの報を受けた河上彦斎は、鼎蔵の弟春蔵とともに周防山口を発ち、京に向かう。仇討ちの相手は、新選組副長土方歳三。京で土方と邂逅する彦斎と春蔵。果たして仇討ちは成就するのか。そして、彦斎が、天下の傑物佐久間象山を斬ることになったいきさつとはなにか。新たな人物像で描く河上彦斎に、ご期待あれ。

早見俊　「刺客　伊藤博文」

幕末、天誅の名の下に数多の暗殺が行われました。殺された者、殺した者、暗殺の数だけ人間ドラマがあります。殺された者が非業の死を遂げたのは当然として、殺した者も不遇の人生を歩んでいます。ところが、ただ一人、暗殺を飛躍台として栄達を果たした伊藤博文。そんな彼にも因果は巡り、彼自身も暗殺者の手にかかり非業の最期を遂げます。時空を超え、暗殺者となった若き日の伊藤俊輔と暗殺者の標的となった伊藤博文の運命の時を描きます。

幕末暗殺地図

京都
江戸
大坂
満州ハルビン駅
伊藤博文
忍海
滋賀右馬大允
姉小路公知
朔平門外の変
禁門の変
孝明天皇
(諸説あり)
宇郷玄蕃
富川十郎、中村五郎
佐野七五三之助、茨木司
賀川肇
平岡円四郎
小西直記
横井小楠
多田帯刀
佐久間象山
深尾式部
島田左近
大村益次郎
大浦作兵衛
安芸田面
大藤幽叟
原市之進
林助
家里新太郎
文吉
足利3代木像梟首事件
正惇、光惇
植村長兵衛
豊田小太郎
池田屋事件
藤崎吉五郎
渡辺新之助
青木猛比古
平野国臣
西原邦之助
坂本龍馬
中村式部
楠小十郎
中岡慎太郎
殿内義雄
井筒屋彦兵衛
芹沢鴨
八幡屋卯兵衛
鴨誉
谷二十郎
平山五郎
仏生寺弥助
中川才吉
飯田節
佐々木愛次郎
猪野田玄助
住谷寅之介
幸助
松田鼎
赤松小三郎
本間精一郎
佐伯又三郎
松井繁之丞
丹羽精蔵
今小路大蔵
油小路の変
和泉屋伝吉
近田松之助
藤堂平助
伊東甲子太郎、服部武雄、毛内有之助
惣助
井筒屋万助
場所不明
阿比留栄三郎
深野孫兵衛
武田観柳斎
大浦申禄、沢子亨
勝井五八郎
樋口謙之亮
八坂順之助、阿比類嘉助
塙忠宝
広沢真臣
中根長十郎
佐須伊織
鈴木重胤
神戸六郎
岡田順蔵
岡田星之助
箱家惣兵衛
吉田平之助
森有礼
加藤甲次郎
黒江屋中兵衛
大久保利通
坂下門外の変
文助
星亨
井伊直弼
宇野八郎
桜田門外の変
清河八郎
ヘンリー・ヒュースケン
伝吉
第1次東禅寺事件
第2次東禅寺事件
英国公使館焼き討ち事件
イギリス水兵2名
田中彦右衛門
堀庄次郎
生野の変
森主税、村上真輔
豊田謙次
下津井屋吉左衛門
日田邦太
牧市内
功山寺挙兵
松山幾之助
吉田東洋
松林飯山
渕上郁太郎
松坂丈左衛門
ホッチ
フォ
江村彦之進
児玉次郎彦
島津斉彬
(諸説あり)
中島名左衛門
興膳昌蔵
真木菊四郎
中山忠光
林郡平
中根一之丞
冷泉五郎
香川半助
鈴木八五郎ら3人
船越清蔵
祖溟西堂
浅見安之丞
立石孫一郎
大谷仲之進
井手孫太郎
フランス水兵11名
角川彦右衛門
渡辺金三郎、大川原十蔵
森孫六、上田助之丞
岡田慎次郎
村松猪右衛門
児島久左衛門
田中善蔵
山田嘉膳
世良修蔵
白石平八郎
白石内蔵進
鳥居忠摩
天狗党の乱
杉山市太夫
佐藤久太郎
久貝悦之進
ロマン・モフェト
イワン・ソコロフ
清国人下僕
アンリ・カミュ
デ・ヴォス
デッケル
ボールドウィン
バード
生麦事件
池内大学
内山彦次郎
仁平次
右塚歳
北角源兵衛
黒部権之助
早川卓丞
高沢省巳
二条寛斎
天章慈英
香川助蔵
寺田屋事件
広田章次
安福大次郎
村岡伊助
豊永伊佐馬
横田蔵之助
冷泉為恭
藪田忠左衛門
天誅組の変
藤堂綱弥太
大利鼎吉
井上佐一郎
高橋建之丞
曲直瀬道策
守田道意
1件 1858年 安政5年
2件 1859年 安政6年
4件 1860年 安政7年 / 万延元年(3/18～)
陸奥
2件 1861年 万延2年 / 文久元年(2/19～)
22件 1862年 文久2年
55件 1863年 文久3年
陸中
34件 1864年 文久4年 / 元治元年(2/20～)
羽後
10件 1865年 元治2年 / 慶応元年(4/7～)
10件 1866年 慶応2年
18件 1867年 慶応3年
11件 1868年 明治以降～(9/8改元)
斬殺
毒殺
銃殺
変・乱・事件